

連載 (供覧) いはひまつりのみち

宗教は人を殺し、祭祀は人を生かす
世界平和のための祭祀を復興させる

第十回 教育勅語

南出喜久治（令和7年1月15日記す）

ちちははと とほつおやから すみめおや やほよろづへの くにからのみち
（父母と遠つ祖先から皇御祖八百万神への国幹の道）

【教育勅語】

明治23年10月30日に渙発された「教育ニ関スル勅語」（教育勅語）は、以下のとおりですが、何の教育に関する勅語であるのかについて、これまで語られたことがありませんでした。

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ
克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦
實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ
及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國
憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如
キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬
ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ
明治二十三年十月三十日

御名 御璽

この勅語の要諦は、多くの徳目を示された後に、「是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン」と結ばれてゐる点です。

この「祖先ノ遺風」とは、まさに祭祀のことです。ですから、これは祭祀勅語なのです。
遺風の「遺」とは、前にも述べましたが、祖先から受け継いだ遺体、遺産の遺のことです。ですから、遺風とは、遺体と遺産によつて祖先の命と魂が受け継がれてきた祭祀の体系である「風」、すなはち風習、習慣のことなのです。

そして、この道が「皇祖皇宗ノ遺訓」とされてゐるのです。これが、いにしへの教へなのです。

